

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 78 号
R1. 8. 13

二学期授業改善



羽地中は、一学期を振り返り、二学期からの授業の準備を進めています。それは、二〇二一年度からスタートする新学習指導要領に謳われている「主体的・対話的で深い学び」を全職員で実現していくための研究であり、教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等、教育課程の全ての取り組みを評価し改善していくとするためのものです。

十月より名護市教育研究所後期研究員として派遣される一年三組担任のI・S子先生の振り返りを紹介します。

【国語】
主体的な学習ができるよう、学習進行表や学習の流れを提示して進めた。二学期は、指導事項の焦点化を図って行きたい。交流活動の前に自分の考えを形成する時間を確保した。しかし、交流の際に、発表だけに終わってしまったので、交流学習の目的や視点を示し、自分の見方・考え方を交流活動を通して、広げる・深める学習へ展開していきたい。

学習のゴールを示すモデルを作成し、評価規準を示すことにつながり、授業と連動した課題設定の在り方を研究していきたい。

主体的・対話的で深い学び

(アクティブ・ラーニング)



一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に
見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に

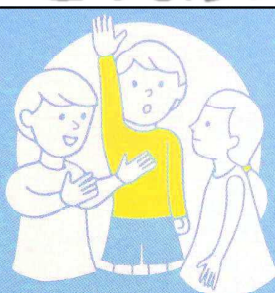
文科省パンフレットより

学習進行表

⑥	⑤	④	③	②	①	時間	学習活動	評価	宿題
登場人物を一人選び、キキへの手紙を書く。(個人)	登場人物を一人選び、キキへの手紙を書く。(個人)	登場人物を一人選び、キキへの手紙を書く。(個人)	登場人物を一人選び、キキへの手紙を書く。(個人)	登場人物を一人選び、キキへの手紙を書く。(個人)	登場人物を一人選び、キキへの手紙を書く。(個人)	登場人物を一人選び、キキへの手紙を書く。(個人)	登場人物を一人選び、キキへの手紙を書く。(個人)	登場人物を一人選び、キキへの手紙を書く。(個人)	登場人物を一人選び、キキへの手紙を書く。(個人)

【道徳】
教科書を活用し、対話を意識してペアやグループ活動をとり入れ展開した。考え、議論する点ではまだ浅い。発問内容や実生活と関連した展開を改善していきたい。

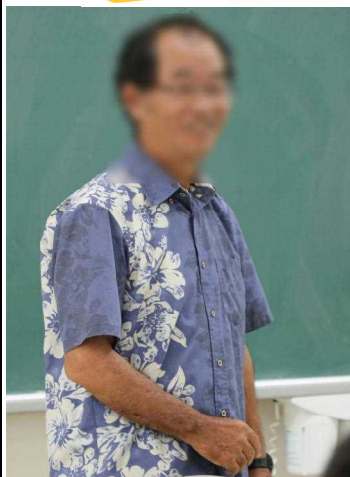
「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に
自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

文科省パンフレットより

夢語れ一会



O・K先生・元羽地中学校長

私の宝物 (一)
O.K.先生
1969年と記された琉球政府が発行したパスポートを胸にしまい、初めて東京の海・空・人を観た思い出や、寮での生活、悩みを記し自分を力ウンセリングする様。そこに刻まれた文字は、私の歴史そのもの。一行一句、それは私にしかわからない価値ある貴重な私の宝物。その宝物を見て、お宝鑑定人はきつと言っとうらう。お金としての価値はいくらも少ないが、「大事になさってください」と。
生徒から学んだ真の宝物を、過去から見つけ出すことはかりでなく、新しく作り続けていく人生を送っていききたいと思っている。

【総合】
O先生から原稿をいただきました。誰にでもある思い出が詰まった「私の宝物」探してみたいですね。今の自分と未来が見えてくるはず。O先生ありがとうございました。感謝。

【特別活動】
係会を実施し、学級における自分達の役割を確認できた。メッセージカードを作成・送ることができた。小学校の校内研修や研究授業に参加でき、研修が深まった。生活ノート「輝星記」の記録・活用を徹底し、当たり前前に活用できる二学期にしていきたい。